

# 役員就任の挨拶

## 就任に当たって（理事 兼 釧路工業高等専門学校長：岸浪建史）

4月1日付で、国立高専機構理事に就任しました。3年前に北海道大学での教育研究活動を経て、釧路高専校長に就任しました。ようやく釧路高専の現状と課題を把握できるようになったのではと思っております。地方に位置する高専の現状と課題を背景に、第二期中期計画の課題である入学志願者の確保、高度化再編、優れた教員の確保、教育の質の向上、教育環境の整備、研究活動の活性化、産学連携等による社会貢献等について意見を述べさせていただき、微力ながら国立高専機構の運営に貢献したいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



## ポスト50年に向けて（理事 兼 明石工業高等専門学校長：京兼 純）

国立高専機構では「進化する高専、創造そして実践」というキーワードで教育研究活動を推進しています。2年後には高専創設50周年を迎えますが、50年を機にポスト50年に向けた新たな枠組みを構築していく必要があります。仏教用語のなかで知識という言葉があります。それは「人々が出せるものを出しあって、共同で一つの文化を創り出していく」ことにあり、「創り出したものが広く共有されるもの」として捉えられています。こうした点を念頭に高専という文化を持続発展させ、育み、花開かせていくために微力ながらお手伝いをと考えていますので、よろしくお願い申し上げます。



## 男女共同参画への積極的な取組を願う（理事：岩熊まき）

本年4月、理事に就任いたしました。長らく企業で技術者として歩んできました。その間、(社)日本技術士会で委員長、副会長などを務め、現在は広報戦略特別委員をしています。また、四半世紀にわたり女性のキャリア形成を応援しています。女性の働く環境、女子学生の学ぶ環境の整備・改善に向け、常に意識して取り組んでいかなければなりません。高専の現場では、女子学生にとって、よき相談相手となる女性教員数を増やし、男女共同参画面での先進的な取組を通じ、社会に認められる事業を計画・展開し、実態を形成していくことが課題と考えています。微力ではありますがこれらの課題に取り組んでいきたいと思っております。



## 高専関係者の皆様へのエール（監事：斎藤秀俊）

新任監事として、皆様にエールをおくります。高専は社会から高い評価を得ています。都道府県ごとの入試難易度からもそれを容易に推測することができます。地域が抱く興味・関心と高専の取組が一致している県ではトップクラスの高い評価を受けています。たとえば、産業用ロボットの稼働率の高い県にある高専がロボコンで優れた成績をおさめていけば、県民が受けるインパクトは計り知れません。各高専の取組とその広報の視点を地域の関心という観点で点検し、より期待される高専づくりの役に立つ成果を提供していきたいと考えています。

